



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

**JAPAN WEST**

京都部



京 都 部 報

Bulletin 2010-2011 Vol.1

2010.7 発行

京都部部長主題 『ワイズにビジョンを、思いやりと共に』

— 世界のワイズが輪になって —

西日本区理事主題 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』

“Forward with Y's men's spirit in our hearts”

国際会長主題 “Once More We Stand” 『心新たに立ち上がろう』

アジア会長主題 “Once More We Stand” 『心新たに立ち上がろう』

『ワイズにビジョンを、思いやりと共に』 世界のワイズが輪になって

第15代 京都部 部長 阪 田 民 明

(京都グローバルワイズメンズクラブ)



いよいよ15期のスタートです。我がクラブでは京都部初代部長大槻隆彦君を輩出して15年、輪番制での部長選出です。歴代部長様の活躍を拝見し、不安と緊張の中でのスタートです。この一年で何が出来ると考えた時、この経済情勢の中、問題は山積され次期に引き継ぐ事すら大変な時代です。京都部ではここ数年メンバーの減少が続いております。西日本区では2000推進を掲げ活動されています。京都部の減少はその活動に大変な打撃を与えております。今期京都部の最大の活動目標として、会員増強に取り組んで行きます。各クラブでも、会長様・EMC委員長様を中心に、増員計画をたて真剣に取り組んで頂きたいと思っています。なぜ減少するのか、その原因を追究し対策を検討して下さい。思いやりの心を持ち例会欠席者には暖かい言葉を掛けて、役職を与え日の当たる場所に置いてあげて下さい。クラブには必要な人材なんだと感じたときには活躍されると思います。クラブにはクラブビジョンを掲げましょう。5年後・10年後のビジョンに向かって進む事で目的意識が充実し、全員が同じスタンスで同じ方向に進めます。1年に進む距離は違えども方向が同じで有れば良いと思います。

今期は京都部に5年ぶりにクラブが誕生します。このエネルギーに刺激され、起爆材にして各クラブの活躍に期待いたします。近年部財政も繰越金を食い込んだ予算と成っています。評議会で部費値上げの議案を提出して検討に入っています。部は何をすべきか、事業主体はクラブにあります。何もする必要が無いとの意見も出ています。一年間議論を行い多くの皆様の納得の行く結果にしたいと思っております。今期の事業の一つにワイズデーの運動に力を入れております。地域奉仕・環境主査の元で計画されています梅小路交通公園でのワイズ市民フェスティバルです。各クラブのサポート施設の皆様と共に色々のプログラムを行います。各クラブでも計画からご参加くださいます事をお願い致します。この運動を地域奉仕を通じて行う事により広報され、EMCにも繋がればと期待しております。今期も各クラブより主査様を輩出頂き有難う御座います。キャビネットと共に頑張ってください。各クラブのご協力をお願い致します。

10～11年度 評議会メンバー

構 成 員	部 役 員	部　　長	阪　田　民　明 (京都グローバルワイズメンズクラブ)
		次期部長	前　　　　　登 (京都みやびワイズメンズクラブ)
		直前部長	山　中　將　平 (京都洛中ワイズメンズクラブ)
		監　　　事	藤　田　寿　男 (京都ウイングワイズメンズクラブ)
	ク ラ ブ 会 長	京都ワイズメンズクラブ	西　村　博　一
		福知山ワイズメンズクラブ	浅　尾　善　逸
		京都パレスワイズメンズクラブ	山　本　一　博
		京都ウエストワイズメンズクラブ	安　平　知　史
		京都めいぶるワイズメンズクラブ	赤　木　美栄子
		京都キャピタルワイズメンズクラブ	山　田　英　樹
		京都プリンスワイズメンズクラブ	森　　　伸二郎
		京都センチュリーワイズメンズクラブ	平　井　一　郎
		京都ウイングワイズメンズクラブ	中　村　裕　一
		京都洛中ワイズメンズクラブ	大　本　正　夫
		京都エイブルワイズメンズクラブ	白　濱　廣　史
		京都グローバルワイズメンズクラブ	上　原　　　康
		京都みやびワイズメンズクラブ	堀　　　晴　美
		京都トップスワイズメンズクラ	倉　　　卓　也
		京都トゥービーワイズメンズクラブ	岡　田　正　義
		京都東稜ワイズメンズクラブ	三　科　仁　昭
京都ウェルワイズメンズクラブ	上　野　晃　平		
答 弁 義 務 者	部 役 員	YMCAサービス・ユース事業主査	中　村　誠　司 (京都ウイングワイズメンズクラブ)
		地域奉仕・環境事業主査	牧　野　万里子 (京都ウエストワイズメンズクラブ)
		EMC事業主査	河　原　正　浩 (京都トップスワイズメンズクラブ)
		ファンド事業主査	小　野　眞　一 (京都東稜ワイズメンズクラブ)
		交流事業主査	石　田　行　雄 (京都みやびワイズメンズクラブ)
		広報事業主査	西　堀　和　之 (京都プリンスワイズメンズクラブ)
		メネット事業主査	柳　田　はるみ (京都グローバルワイズメンズクラブ)
		書　　　記	高　橋　秀　樹 (京都グローバルワイズメンズクラブ)
		会　　　計	紺　谷　昌　丘 (京都グローバルワイズメンズクラブ)
		事務局長	柳　坂　皓　一 (京都グローバルワイズメンズクラブ)
京都YMCA　統括連絡主事		加　藤　俊　明	

10～11年度 部長公式訪問予定表

クラブ名	年月日	曜日
京都キャピタルワイズメンズクラブ	2010/ 7 /20	火
京都ウエストワイズメンズクラブ	2010/ 7 /22	木
京都ワイズメンズクラブ	2010/ 8 /10	火
京都グローバルワイズメンズクラブ	2010/ 8 /18	水
京都めいぶるワイズメンズクラブ	2010/ 8 /23	月
京都トップスワイズメンズクラブ	2010/ 9 / 8	水
福知山ワイズメンズクラブ	2010/10/12	火
京都パレスワイズメンズクラブ	2010/10/13	水
京都東稜ワイズメンズクラブ	2010/10/14	木
京都エイブルワイズメンズクラブ	2010/10/26	火
京都トゥービーワイズメンズクラブ	2010/11/10	水
京都みやびワイズメンズクラブ	2010/11/17	水
京都ウイングワイズメンズクラブ	2010/11/18	木
京都洛中ワイズメンズクラブ	2010/11/25	木
京都プリンスワイズメンズクラブ	2010/12/ 1	水
京都センチュリーワイズメンズクラブ	2011/ 1 /20	木
京都ウェルワイズメンズクラブ	2011/ 2 / 1	火

10～11年度 評議会・役員会 日程

年月日	曜	評議会	役員会
2010/ 6 /20	日	第 1 回	
2010/ 7 / 2	金		第 1 回
2010/ 7 /31	土		第 2 回
2010/ 9 / 3	金		第 3 回
2010/ 9 /12	日	第 2 回	
2010/10/ 1	金		第 4 回
2010/11/ 5	金		第 5 回
2010/12/ 3	金		第 6 回
2011/ 1 / 7	金		第 7 回
2011/ 2 / 4	金		第 8 回 (合同)
2011/ 2 /13	日	第 3 回	
2011/ 3 / 4	金		第 9 回
2011/ 4 / 1	金		第 10 回
2011/ 5 / 6	金		第 11 回
2011/ 6 / 3	金		第 12 回 (合同)
2011/ 6 /19	日	第 4 回	

*この予算案は、6月20日の第1回評議会において承認されておりますが、追って会員数確定や前期繰越金確定を反映させた予算書を作成し、第2回評議会に議案提出の予定です。

第15期 京都部予算（案）

2010.07.01 ～ 2011.06.30

収入の部					単位：円
科 目	第13期決算額	第14期予算額	第15期予算額	備 考	
部費	1,326,000	1,350,000	1,323,000	2010年3月付 人員441人で算出（@¥3,000）	
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より 部一律	
部活動援助金2	89,000	90,000	88,200	西日本区より部一律 部メンバー1人当り¥200	
利息	1,224				
単年度収入小計	1,516,224	1,540,000	1,511,200		
前期繰越金	957,087	887,060	634,060		
合 計	2,473,311	2,427,060	2,145,260		
支出の部					単位：円
科 目	第13期決算額	第14期予算額	第15期予算額	備 考	
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費@¥20,000×7事業	
部事業費	310,000	495,000	495,000		
会議費	130,000	125,000	125,000	役員会・評議会・三役会会場費等	
印刷費	304,898	284,000	284,000	部報・会議資料等	
部会補助費	461,000	450,000	441,000	@¥1,000×441人（連絡主事含）	
研修費	182,000	208,000	221,000	研修会登録費 ¥17,000×13人	
通信費	37,745	41,000	41,000	郵便・電話・部ホームページ維持費	
事務費	10,723	30,000	30,000		
慶弔費	9,885	20,000	20,000		
単年度支出小計	1,586,251	1,793,000	1,797,000		
次期繰越金	887,060	634,060	348,260		
合 計	2,473,311	2,427,060	2,145,260		
特別会計収入の部					単位：円
科 目	第13期決算額	第14期予算額	第15期予算額	備 考	
前期繰越金	250,958	150,958	150,958		
一般会計より	100,000	200,000	200,000	リーダー支援金	
合 計	350,958	350,958	350,958		
特別会計支出の部					単位：円
科 目	第13期決算額	第14期予算額	第15期予算額	備 考	
スタディーツアー支援支出	200,000	200,000	200,000	リーダー海外研修支援	
ユース支援金					
予備費	150,958	150,958	150,958		
合 計	350,958	350,958	350,958		

第15期 京都部予算（案）支出の部

2010.07.01 ～ 2011.06.30

単位：円

科 目	細 目	15期予算額	備 考
事業費	Yサ・ユース事業	20,000	各事業運営費・資料・通信等
	EMC事業	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	
	ファンド事業	20,000	
	交流事業	20,000	
	広報事業	20,000	
	メネット事業	20,000	
小 計		140,000	
部事業費	YYフォーラム	40,000	
	CSチャリティーポーリング	50,000	
	事業懇親会	35,000	5,000 × 7 事業
	国際協力募金支援	30,000	参加リーダー交通費等
	ワイズデ-事業	50,000	
	予備費	10,000	
	合同メネット会関連	80,000	会場費含む
	特別会計へ	200,000	リーダー海外研修派遣支援
小 計		495,000	
会議費	役員会	36,000	三条 YMCA 教室 ¥3000 × 12
	次期役員会	15,000	三条 YMCA 教室 ¥3000 × 5
	評議会	74,000	三条 YMCA マナホール × 1 ホテル × 1
	三役会		
小 計		125,000	
印刷費	部報	246,000	3 報印刷代 印刷 2 報 + ホームページ 1 報
	会議資料	38,000	
小 計		284,000	
部会補助費	京都部部会補助	441,000	@ 1000 × 441 人（連絡主事含む）
研修費	部長	17,000	1 月次期役員研修会
	次期部長	34,000	1 月次期役員研修会 3 月次期会長主査研修会
	次期主査	119,000	3 月次期会長主査研修会 17,000 × 7 名
	次期三役	51,000	1 月次期役員研修会 17,000 × 3 名
小 計		221,000	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	10,000	
	部ホームページ関係	31,000	
小 計		41,000	
事務費	事務備品	30,000	
慶弔費	慶弔費	20,000	
次期繰越金			
支 出 合 計		1,797,000	
特別会計支出の部			
単位：円			
科 目	細 目	14期予算額	備 考
スタディーツアー支援支出		200,000	
ユース支援金			
予備費		150,958	
合 計		350,958	



京都部 次期部長
前 登
(京都みやびワイズメンズクラブ)

次期部長を仰せつかりました京都みやびクラブの前です。クラブ暦はクラブのチャーター以来17年になります。次期の京都部を引張る立場として、今期は京都部の役員様ともどもいろいろ勉強させていただきたく思っております。

現在は何の諸団体もある閉塞感に見舞われているようですが、京都部も何らかの突破口が見つければと思案しています。再度ワイズメンズクラブの原点に振り返り、現社会情勢と一致する共通点からいろいろな事業活動を再構築するようなポイントを、皆様とみつけだせれば幸いです。そのために京都部のよきけん引役となるように努力していきたいと思っております。京都部はクラブ数が17と最大でまた今期一クラブがチャーターされます。全18クラブを導くというようなおこがましいことはできませんが、それぞれのクラブにとっても共通に意義があり、将来に有効的な活動のひとつでも残せたら…と思っております。



京都部 直前部長
山 中 將 平
(京都洛中ワイズメンズクラブ)

2009～10年度を無事終え、今年度に引き継ぐことができ、皆様のご協力に感謝申し上げます。藤田寿男部長から京都部を引き継ぎ、京都部役員と一丸となって、運営に力を注いだ一年でした。多くの部の事業や京都YMCAへの協力を継承しつつ、新しい試みも加えましたが、多彩な行事、17クラブと多くのクラブがあり、その年度のカラーを充分出せるまでには到らないのが現実です。事業の継続や基本を受け継ぐことは重要ですが、今期はどのような新しいエッセンスを加えられるかを楽しみにしています。この1年、藤田監事と共に直前部長として私達の経験を活かし、適切なアドバイスができるよう心掛けたいと思っております。今年度末、前年度の役員同様、全役員が満足感と笑顔で終わられることを期待致します。



京都部 監事
藤 田 寿 男
(京都ウイングワイズメンズクラブ)

次期という立場で半年を過ごされてきた阪田部長はじめ京都部15期役員の方からは、「いよいよ」という心意気を感じ取れます。前期は直前部長という立場でしたから、山中部長に引き継いだ業務をどのように展開していただけるか期待を込めて常に部長サイドという視点、一種仲間という思いで部の行事を共に楽しんでできました。今期は監事という立場ですから、少し微妙です。部役員会の一員として共に一致協力し、共に意思を通じ合い、共に楽しむということは変わりありませんが、そこに埋没してしまうと見えなくなってしまうこともあるかもしれません。仲間から一歩外に立って見る目が求められているとは言え、心情的にはあまり距離は置きたくありません。厳しい目と柔軟な心で4年間という長いながい最後の一年のお役目を全うしたいと思います。



京都部 書記
高 橋 秀 樹
(京都グローバルワイズメンズクラブ)

文字通り、議事の記録や会議の進行・対外的な窓口等が主な役割ですが、会計・事務局長と共に部長を支え、部の役割・存在意義をあらためて考えながら舵取り役の一人として一年間ご奉仕させていただく所存です。

部や区の組織というのは各クラブとは大きく異なり、役職を退いた後に一構成員として関わることはありません。「今期さえ何とかなれば」「困難な事柄は次期以降に」そんな考えで一年を終えることも可能ですが、それでは部の建設的・継続的な発展は考えられません。お役をいただいた以上は積極的に課題に取り組み、微力ながら京都部発展のために尽力いたします。一年間、ご指導・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



京都部 会計
紺 谷 昌 丘
(京都グローバルワイズメンズクラブ)

今期京都部会計をさせて頂くことになりました京都グ

ローバルクラブの紺谷です。1年間よろしくお願ひします。15期阪田部長の下、お引き受けしたものの初めての事なので少し緊張しております。大切な京都部メンバーの部費を預かることになるので無駄なく、間違いなく、有意義に使用される様に務めたいと思います。京都部の予算ですが、ここ数年大変厳しいものになっており部では事業に対して多くの予算が取れません。部の事業の取りまとめや広報的なことが中心にならざるをえないのが実情です。できれば今期部費の値上げをと考えております。各クラブの皆様、ご協力の程宜しくお願ひ致します。



京都部 事務局長
柳 坂 皓 一
(京都グローバルワイズメンズクラブ)

今期京都部の事務局長を担当いたします京都グローバルワイズメンズクラブの柳坂皓一と申します。一年間京都部発展のため微力ながら尽力するつもりです。京都部の役員並びに各事業主査の活動を側面より支えてまいります。資料の準備・通信業務・その他諸々の作業を担当し、スムーズな流れを作りたいと考えております。また、京都部各クラブ会長の皆様には何かとお願ひする事も多いかと思いますが、何卒宜しくご協力をお願ひ申し上げます。



京都部 統括連絡主事
加 藤 俊 明
(京都 YMCA)

京都部には毎年 YMCA 運動の発展のために、多大なご支援ご協力をいただき感謝いたしております。京都部の統括連絡主事として二期（正確には一期半）が済み、今期で三期目に入ろうとしています。

統括連絡主事として今期は、京都部と京都 YMCA の意思疎通がスムーズに図れるようにしていくと共に、京都 YMCA のことをワイズメンに今以上に理解してもらえるように情報発信をしていかなければと思っています。ご承知のように京都 YMCA は、公益法人化に向けて準備を進めているところですが、公益法人となることで京都 YMCA は様々な点において変わってまいります。その事についても京都部のワイズメンの方々にも知っていただき、ワイズと YMCA の更なる協力関係についても協議していけるよう努力していきたいと思っています。



YMCA サービス・ユース事業 主査
中 村 誠 司
(京都ウイングワイズメンズクラブ)

すでに夏季リトセン・サバエキャンプ場準備ワークが終わり、多くのメンバーのご参加ありがとうございました。今期主題を『喜びと感動を共有しよう』とさせて頂きました。

Yサは年間を通じて沢山の事業がありますが、それは自クラブのみならず他クラブのメンバーとの交流の場でもあります。互いに協力しあって達成する事で喜びと感動が生まれると思います。楽しい場には人が集まると言いますが、近年の課題でもあるメンバー増強にも繋がるのではないのでしょうか。

またリーダーの活躍を直に見る事は我々にとっても刺激になり、YMCA 理解にも繋がると思います。キャンプだけではなく Y Y フォーラム・卒業祝会など一つでも多くの事業にご参加下さい。

最後に、8月に行われます国際ユースコンボケーションにたくさんの参加希望者があり、追加支援が必要となっております。一人 1500 円各クラブ 100% 達成を目標としております。Yサ・ユース献金のご協力をよろしくお願い致します。



地域奉仕・環境事業 主査
牧 野 万里子
(京都ウエストワイズメンズクラブ)

今期、京都部地域奉仕・環境事業主査をさせていただくことになりました京都ウエスタクラブの牧野万里子です。部長主題の「ワイズにビジョンを、思いやりと共に」という気持ちで地域奉仕事業に取り組んでいきたいと思っています。他人への無関心・飢餓・貧困・HIV・環境問題・・・決して他人事ではありません。各クラブの皆様と共に知恵を出し合い、ワイズメンとして何ができるかを検討していきたいと思っています。そして地域社会との積極的なコミュニケーションを通じて、ワイズメンズクラブの活動をアピールしていきましょう。献金については、CS・FF・TOF の意味と必要性をよく理解していただき、積極的に行っていただけるよう呼びかけていきます。環境問題については、個人個人ができることは限られていますが、クラブのメンバーでまずは身近な事から取り組んでみてはいかがでしょうか。困っている人を助けるのに理屈はいらないと思います。まずは身近なことから始めてみませんか。一人ひとりの働きはきっと大きな花を咲かせると思います。“よりよい地域社会”それは未来の子供たちへの素晴らしい贈り物となることでしょ

う。一年間、ご指導・ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



EMC 事業 主査
河 原 正 浩
(京都トップスワイズメンズクラブ)

なぜ例会に出るのでしょうか？・・・勉強になる、楽しい、安らぎがある、仕事を忘れられるひと時だと私は感じています。昨今の経済状況が悪い中でのメンバー獲得は、容易な事ではありません。しかしワイズの歴史の中で幾度となく苦難を乗り越え現在があると思います。メンバー増強についても個々に熱い気持ちを持ち、誰かがやるから私一人ぐらいはと思わず、メンバーの皆さんの熱い×2情熱が必要です。毎回5名以上のゲストを呼べる様な例会作り、又ゲストがゲストを呼べるようになることがクラブにとっての活性化にもつながり、斬新な活動が出来るのではないのでしょうか。その中で EMC 懇談会・シンポジウム等で、良い悪いは別にして、思ったことを話し合う事が大事だと思います。メンバー増強は重要な事です、M→メンバー意識の高揚・親睦、C→素晴らしいクラブ作りにも目を配り、京都部 555 名を目指し活動させて頂きます。



ファンド事業 主査
小 野 眞 一
(京都東稜ワイズメンズクラブ)

東稜クラブの小野です。今年でワイズ暦 20 年ですが、東稜クラブとしても私自身としても、初めて京都部のスタッフとして努めさせて頂くことになりました。ファンド事業は他の事業の中でもメンバーの皆様にお金を求めるばかりの地味で存在感の薄い役割ですが、本当は BF 献金により国際活動を側面から支え、クラブとしての Y サ事業や地域奉仕事業が、充実した意義深い活動が出来るための背骨を担っている大切なポジションであると思います。

20 年もワイズにしながらファンド事業の本来の役割や詳細を十分に理解しているわけではありませんでした。そこで今期自分自身の勉強も兼ねながら、メンバーの皆様にも少しでも理解いただけるようアクションをかけるつもりです。

一人 1500 円位の BF 献金が何に使用されどのようなお役立ちができているか。BF 代表とはどんな貢献をされているのか。EF の発祥と目的は、JWF とは、そのような目的と意義を理解して献金いただかないと、そのお金は生かされないのではないかと考えます。そのためにも可能な限り、献金がどのように使用されているかの情報をお伝えするつもりです。

各クラブがクラブ内ファンドの活動に苦心されていることも、クラブ間の実情と活動状況をお互いに情報交換し、クラブ同士の交流を深めていただくように努めたいと思っています。どうかこの 1 年よろしく願い申します。



交流事業 主査
石 田 行 雄
(京都みやびワイズメンズクラブ)

サッカーのワールドカップ・参議院選挙もやっと終わりました。サッカーでは日本が大健闘しました。前評判は余り芳しくなかったものの、開幕してみると予想をはるかに上回る試合展開に、寝不足になった人も多いのではないのでしょうか。どん底に追い込まれながら、最高のチームワークで私達に感動を与えてくれました。

私達が集うワイズメンズクラブの活動においても、このチームワークが欠かせません。一人ひとりの力は微々たるものでも、みんなの力が集結した時にそれは大きな力になります。今こうして健康な体と少々の仕事を与えられ、ワイズメンズクラブに集える事や YMCA の活動を通じて、少しでも地域社会に貢献できる事、そして今回縁あって交流主査と言う仕事を与えられた事を感謝致します。

交流主査として自分のクラブを初め他クラブとの橋渡しをし、IBC・DBC の交流が円滑に進められるようワイズが大好きをモットーに、多くの方々と触れ合いたいと思います。又、YEEP・STEP の参加を呼びかけ、ワールドカップで感動を与えてくれた選手のように、世界にはばたく子供達を応援したいと思います。一年間どうぞよろしくお願い致します。



広報事業 主査
西 堀 和 之
(京都プリンスワイズメンズクラブ)

広報事業とは「組織内外の人に広く情報を伝えること」(Public Information) と、「人のつながりを強めること」(Public Relation) に関する事業と西日本区では定義されています。この事業は国際協会が 1997 年に 75 周年を迎えるにあたり、日本国内で会員数を 6,000 人に倍増することが 1992 年に時の日本区役員会と年次代議員会で採択され、ワイズメンズクラブを世間に認知させる活動を活発化するために始まりました。

20 年弱経過した今日、東西日本区を合わせても未だにその目標は達成できず、京都部のスローガン「555」もまた然り。まことに残念なことです。

今さら理由を詮索しても詮無い事ですが、その後の

我々を取り巻く環境の変化は、時代の要請としてNPOの活動や慈善事業としてのソーシャルビジネスがメディアに取り上げられ、これらの事業活動に参画しなければ時代に乗り遅れるという社会的風潮が、会員のリクルートの際の足枷となっていることは否定できません。

そのため、組織内では国際・エリア・区・部・各クラブの情報を双方向で速やかに伝達をすると共に、外に向かっては広報マニュアルである「ともし火を輝かそう!」に基づく事業活動を継続して実施できる礎を築き、一方ではメンバー一人ひとりが機会ある毎に職域で又地域社会でワイズについてお話をしていただき、組織と個人レベルの広報活動の強化に努めます。これら具現化のため皆様のお知恵をお貸し下さい。

ワイズメンズクラブのブランド価値を高めようではありませんか!!



メネット事業 主査
柳 田 はるみ
(京都グローバルワイズメンズクラブ)

京都部メネット主査を委嘱された時の私の気持ちは、広い海原に突然投げ出され、溺れそうな不安の始まりでした。どうしたら陸に着く事が出来るのか泳ぎ始めた時でした。今期メネット主任が掲げられた「愛の心」と、国内プロジェクト「豊島神愛館乳児院への支援」と言う太い流木を捕まえる事で、賛同の気持ちと道標が定まり主査として出発する事が出来ました。

昨今の報道で、子供の虐待や育児放棄の事を聞くにつれ、心痛めていました。これが出逢いなののでしょうか。恵まれない子供たちを少しでも援助出来る活動に力を注ぎたいと思います。24時間体制で働く保母さんの事。国や香川県からの補助では施設の補修費も足りない。交通が不便で病院もない事など支援に至るまでの経緯を知り、京都のワイズメンやメネットの皆様にご理解を頂き、主任やスタッフの方々に協力していこうと決心致しました。支援の形としては、子供達の緊急事態に対応出来る搬送用の車を寄贈したいと考えております。部長公式訪問随行の際や交流会・部会等で皆様にご説明させて頂き、ご支援を賜りたく考えております。今年一年間、西日本区メネット主任やスタッフの方々と協力して活動してまいります。各クラブのメンやメネットの皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



京都ワイズメンズクラブ
会 長 西 村 博 一

◆ 会長主題 ◆

「選択」「連携」「集中」そして「感動」

クラブ会長としての一年のスタートとなりました。京都クラブとしては、これまでいくつかの新しい試みを実行してきましたが、本当に継続していかなければならない事業なのか、今一度検証し考えてきました。

私たちワイズメンを取り巻く環境は常に変化しているのですが、一年を一サイクルとして行動している現状では、クラブ事業もいつの時期に何を行うか決まっており、結果として前年と同一にならざるを得ません。又、継続事業の中には、目的がぼやけてしまったものや、当初の目論見から外れてしまったものもあります。このような状況を打開するため、階段の踊り場に例え、クラブの事業全てについて、目的・意義意図・効果など評価見直しを行い、「事業として行うものは何か」について、国の事業仕分けではありませんが、取捨選択を行いたいと考えております。「継続は力なり」との言葉もあり、続けることの大切さも判りますが、当初の目的から外れたものや期待した効果が得られなかったものなどは廃止するか、目的意義を考え直し、再スタートしようと考えています。この考えの基本には、メンバー相互のコミュニケーションが必要であり、クラブの進む方向を決め、ベクトル合わせを行う必要があります。意見の食い違いもあり、反論も多く出ることと思いますが、違いを顕在化することで、クラブ員がより真剣に話し合うことが出来、クラブ意識も高まってくることと思います。マンネリ化による刺激の無さによる無関心を排除することで、クラブ活動はより大きな成果を生み出し、各々の満足感、達成感が共有され、クラブ内が活性化し、感動に繋がります。そして、次の事業への新しい一歩となることと信じています。



福知山ワイズメンズクラブ
会 長 浅 尾 善 逸

◆ 会長主題 ◆

親睦と会員増強あるのみ 倍增をめざして

福知山クラブは1979年YMCA会館を手作りで建築し、活動を続けてきました。毎年夏にはこの会館前の川のクリーン活動を展開し、地元自治会・子供会・金融機関・行政職員の参加もあり、草刈・川掃除に汗し翌日にはきれいな川でアユやウナギ・金魚の魚つかみ大会を催しま

す。その他子供の日の市子供大会の「竹細工コーナー」「絵本の広場」を担当し、正月には「青少年席上書初大会」を主催する等地域サービスをしてきました。

少数メンバー故に意思疎通・親睦も深いものがあります。それにしても8名のメンバー、しかも高齢では会の継続存亡さえ危ぶまれます。今年こそは危機意識を自覚し会員増強を実現する年とします。



京都パレスワイズメンズクラブ
会 長 山 本 一 博

◆ 会長主題 ◆
一致団結
パレス 100 名を目指して

40 周年を迎える今期の主題を「一致団結」、副題を「パレス 100 名を目指して」としました。会員増強は区や部においても最大のテーマとされています。それは目標人数もさることながら、実はクラブの根幹を為す事業であり、存続のための必須事項であるからです。

新入会員を獲得するという活動は、会員一人ひとりの質的向上に直結する活動だと考えます。人に説明することで、クラブについてより深く考える様になります。知らず知らずのうちに享受している恩恵に気付きます。クラブで過ごす時間の意味を意識するようになります。

一方で、会員が増える事は、そのまま Y サ事業・地域奉仕環境事業の拡大・充実に繋がります。その他の事業においても、質・量ともにより充実した活動が出来るようになります。

パレスクラブの第 40 期はそうした事を強く意識して、会員の増と強の両方を推し進めたいと思います。全ての事業を会員 100 名という目標に向けて見直し、計画・実行して参ります。



京都ウエストワイズメンズクラブ
会 長 安 平 知 史

◆ 会長主題 ◆
「未来へ Kick Off」
～温故知新～そして新たなステージへ

ウエストクラブは前期に 30 周年という節目を迎えました。今期は第 31 期ということで、人間のライフサイクルに例えると青年期～成人期に移り変わる時期になります。先人達が築きあげた設立～現在までのウエストクラブの 30 年間の歴史をもう一度紐解き、そしてその想いを知り、理解や学びを深めたうえで、成人期に入るウエ

ストクラブとして新たなステップを踏み出したいと思っています。そして、これまでの様々な奉仕活動に加え、30 周年を機にスタートした「京都西山竹林再生事業」という新しい挑戦も含め、これらの事業に「知恵」と「情熱」というスパイスを加え、更なる充実した事業にしていきたいと考えます。

「私たちは何のためにワイズ活動をしているのか？」という活動の本質を常に意識しながら、ウエストクラブの為に、仲間の為に、自分自身の為にクラブの様々な活動を通じて、YMCA のサポートや地域社会に貢献はもちろん、メンバー自身が自己研鑽し成長できるクラブ環境の構築を目指します。

「強く」「熱く」「楽しく」魅力あるクラブづくりを目標に、5 年後、10 年後、未来のウエストクラブの方向性がしっかりと示せるような、充実した意義のある 1 年間にしたいと考えます。



京都めいぷるワイズメンズクラブ
会 長 赤 木 美 栄 子

◆ 会長主題 ◆
Mission! (目的)・Pasion! (情熱)・Action! (活動)
～地域に根付いた奉仕活動～

「友愛」どこかの国の総理がしきりにおっしゃっておりますが、26 年前めいぷるクラブ創設時会則の序章に、『めいぷるクラブは「親睦のうちに素晴らしい人間を創るための愛に基づく自己研鑽の場」・メンバーとしての強い自覚と人間愛の拡がり、ワイズメンズクラブの「灯」が谷間に届くように、友愛と結束の輪が永遠に続き、歳月を友として奉仕の輪が無限に継続してゆくことこそ、本会則が真に生き、活かされていることになるのである。』とあります。その目的 (Mission) のため、熱き情熱 (Pasion) をたたきつけ、本気で活動 (Action) する、そういう一年にしたいと思います。

そして、クラブ創設時よりサポートさせていただいている積慶園・京都市民福祉センター (ふらっと事業)、昨年より取り組ませていただいている YMCA 発達障がい児プログラムへのサポートに向け、施設訪問や金銭的援助だけでなく、クラブの先達の皆様に負けぬ情熱で今一度気合を込めて取り組む所存であります。そしてより信頼関係を深く築きたいと思います。ただ、私一人ではとても背負いきれる荷物ではありません。どうぞ皆様の力強いお力を私にお預けいただけますようお願いいたします。そして、この 1 年間奉仕を通じてメンバーの親睦を計り、YMCA を通じた奉仕活動を原点としたサポートの輪を広げ、私達も共に成長できればと思います。そして、諸活動に共感を覚えていただき、新しいメンバーが入会していただければうれしい限りです。



京都キャピタルワイズメンズクラブ
会 長 山 田 英 樹

◆ 会長主題 ◆
『It's coming』
時が満ち新たなムーブメント

京都キャピタルワイズメンズクラブ 2010 ～ 2011 年度会長を拝命いたしました山田英樹です。京都部のワイズメンの皆様一年間どうぞよろしくお願いいたします。

キャピタルクラブは皆様の多大なるご協力のおかげをもちまして、一昨年無事 25 周年を迎えることができました。本当にお世話になりありがとうございました。大変ありがたいことに、25 周年記念例会でクラブ外の皆様に無事お披露目が出来たことと同時に、クラブ内でも益々結束が強固な物になっている実感を感じている今日この頃です。キャリアの長短に限らず、闊達な空気の中自由に発言しまたそれがクラブ運営にフィードバックされる……。各々が出来る範囲で最大限の努力を、しかも楽しみながら進んで参加できる。そんな素晴らしい土台を築いていただいた先輩達に感謝の念でいっぱいです。歴代会長から引継がれたバトンは、今の私には本当に重く重く感じられます。日々その重さに押しつぶされそうになりますが、大好きな仲間達に助けてもらいながら精一杯がんばりたいと考えております。

今年度は西日本区大会のホストクラブという重責を担っています。これ以上ない重責であろう事は理解しているのですが、それがどれほどのものであろうかは正直今の私にはわかりません。メンバーは口々にちょっと笑いながら『大変やぞ』と勝手なことを言います。プレッシャーだけが日々大きくなる一方なのですが、これも運命・神様のお与えになった試練と考え邁進して参ります。

京都部の皆様、是非ともキャピタルクラブにお力をお貸しくださいませ。

一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



京都プリンスワイズメンズクラブ
会 長 森 伸二郎

◆ 会長主題 ◆
豊かな心を求めて、YMCA と共に
Restart! Aim for double

設立から 25 周年記念を次期に迎えてプリンスクラブは最大のピンチに遭遇しています。設立から 10 年目にはメンバー数 50 人に迫る勢い。それから 15 年メンバー 14 人でのキックオフです。

そんなプリンスクラブを 1 年後には「メンバー倍増」を掲げて会長に立候補しました。自分のクラブに自信(誇り)が持てて、一人が一人を誘い込めばメンバーは倍増です。と言えは実現出来そうな事ですが、「自分のクラブに自信を持って」の所が難関です。自信が持てなくなったからメンバーが激減してしまったのだと思っています。「ワイズメンズクラブって何？」あなたは誇りを持って応えられる答えを持っていますか？

私はその答えをプリンスクラブのプリテン 4 月号に見つけました。京都 YMCA 学園理事長の亀井剛ワイズに書いていただいた巻頭記事、「奉仕クラブとしてのワイズメンズクラブの特性」の最後の行に「そこには深く豊かな心の世界が展開する」と結ばれていました。

私の会長主題は「豊かな心を求めて YMCA と共に」です。そして副題は「Aim for double」。ワイズメンがワイズメンであろうとするその心を、広く多くの人に伝えられたら、プリンスクラブは危機から脱出できると信じて、1 年間会長を務めさせていただきます。



京都センチュリーワイズメンズクラブ
会 長 平 井 一 郎

◆ 会長主題 ◆
忙中閑有り
健康で楽しく笑顔でワイズ活動をしよう

本クラブ入会のきっかけは、今からさかのぼる事七年前、同窓会にて吉田ワイズに会いいろんな話をする中、本クラブの話も出聞き、これがきっかけで入会いたしました。

会の皆様と共にいろいろな講師の方々・他クラブの方々とは学び研修し、教養を深められたことにとても感謝しております。皆様と出合い又楽しい時間をこれからももっと大切にしたいと思っております。私のモットーは“忙中閑有り”です。これをいつも忘れずに心に置き行動するようにしています。そして副題は“健康で楽しく笑顔でワイズ活動をしよう”です。

一般の人々にワイズメンズクラブというネーミングをいかに知ってもらおうか。マスコミを通じて広げて行くと共に、会のメンバー一人ひとりの大切な方に、あなただからこそ出来る個性でお互いに良い影響を及ぼし、2010 年が素晴らしい年になればこれに優る喜びはございません。

今の世の中はいろいろな問題をかかえ、ともすれば暗くなりがちな時代ですが、こんな時代だからこそ夢と希望を持ち、活気のある元気なワイズメンズを皆様と共に目指していこうではありませんか。

成功の基準は個人的な幸福感とつながっているとの考えも又、深くうなずけるものがあります。強くたくましい、今日よりも明日を高みに向かって歩んでまいりましょう。



京都ウイングワイズメンズクラブ
会 長 中 村 裕 一

◆ 会長主題 ◆
「先ず、できる方法から考えよう」

私は常々「できない理由ではなく、できる方法を考えよう。」と心掛け行動したいと思っています。一見難しそうな問題に対して、諦めたり出来ない理由を挙げるのではなく、常に「どうしたら出来るか?」という発想で自信を持って物事に当たっていこうと意識しています。

ワイズメンズクラブにおいては、様々なタスク（任務）があります。例会や委員会への出席、ワークでの奉仕活動、メンバー勧誘IBC等々、時間と労力、そしてお金もかかります。何かと大変かと思いますが是非できる方法を見つけて頂いて、積極的にクラブ活動に関わっていこうではありませんか。そうする事により、より充実したワイズライフにも繋がると思います。

私は今期、基本的ですが例会の重要性の再認識・委員会の活性化の2点を強調していきたいと思っています。例会出席はメンバーの最低限の義務です。まず参加しなければ何も始まりません。是非1年のワイズの年間行事を先にスケジュールに組み込んで頂き、最優先のアポイントとして例会全出席できる方法を考えましょう。

例会はメンバー同士の親睦を深める場所であるのと同時に、奉仕をする心構えを養う自己研鑽の場でもあります。楽しく、めりはりの効いた活気ある例会運営により、メンバーが喜んで集い、新入会員が相次ぐウイングクラブを実現させましょう。

又、各委員会はクラブの重要な最小ユニットです。例会・ワーク等の様々な行事の準備部隊として役割、そしてクラブ運営について率直な意見を交わし、意識を共有化していく場として大切だと思います。そこで月1回の委員会開催を励行しましょう。

私は、ウイングクラブがより地域社会に貢献し、信頼される存在になっていければと思います。メンバー各自の自覚と参加意欲が円滑なクラブ運営には不可欠です。皆様のご協力どうぞ宜しくお願いします。



京都洛中ワイズメンズクラブ
会 長 大 本 正 夫

◆ 会長主題 ◆
感動（感じて動く）を共有しよう
一歩一歩たゆまなく

我がクラブも23年目を迎え、私としては20年ぶりの

会長職をさせていただきます。50名を超えるメンバーが在籍していた時代もありました。若さとパワーに任せて多くの事業をそれこそガムシャラに、積極的に取り組みこなしていたという頃もありました。

年月を重ね少し人生を振り返ってもゆるされる年代となって、それぞれのメンバーの人生の一コマに、やはりワイズを通してのさまざまな思い出が大切に宿っています。

これからも感謝の心と温もりを大切に、感じて動くを行動の原点にして、たゆまない一歩一歩を進んで参ります。新刊書に努めて力まない（努力しない）生き方というテーマで、しなやかな人生を説く本が売れているようですが、クラブ運営も同様に考えております。仲良しクラブを否定される表現を多く聞きますが、誇れるほどの仲良しクラブです。創意と工夫で頑張ります。



京都エイブルワイズメンズクラブ
会 長 白 濱 廣 史

◆ 会長主題 ◆
新しい一歩・新しい歴史
－ゆっくりと・確実に－

21期の会長にと指名されたのは一年と八ヶ月前の事で、まだまだ時間の余裕が有ると思っていたのですが、あっと言う間に時間も過ぎ、七月のキックオフの時期に来てしまいました。

今期の目標としては、まず何と言ってもメンバー増強なのですが、前期は二十周年記念例会を全てのメンバーの総力を挙げて成功させたのですが、その反動でメンバーがホッとしたと言うか…今期は焦らずに、確実に、一つ一つの今までにやっていた行事を見直すと言う事も含めた上で遂行していきたいと思っています。

メンバー増強という中で、大きなプラスに成ると思うのですが、前期を含め四年程に成ると思うのですが、我がクラブは固定した例会場が無く、毎回異なる例会場で例会をしていました。時には会場を間違えるメンバーも居たりしました。と言う事も有って、今期からはメインの例会場も決まり、より多くのメンバーゲストを呼べるのではと期待をしております。そのためには勿論、メンバー一人ひとりの増強への意識向上と言う事で、他クラブとの折衝が少ない地域で活動をしているクラブですので、他クラブに積極的に出かけて行き、それぞれのクラブのパワーを分けて頂きたいと思っています。その節は宜しくお願いします。



京都グローバルワイズメンズクラブ
会 長 上 原 康

◆ 会長主題 ◆

心ひとつに、更なる飛躍を！

ひとつ（輪）になれば、限りない力

今期グローバルクラブは第15回京都部部会のホストを務めることとなりました。15年前、設立4年目にして初代京都部部長を輩出し、京滋部から別れ記念すべき第1回京都部部会のホストを務めました。華やかに開催された部会は大成功の評価を頂戴し、メンバーの自信と結束力を高められたと、当時のことを諸先輩の皆様にお聞きしました。15回目となる節目の部会に2度目のホストを務める、何か不思議なものを感じております。

昨年末から部会実行委員会を立ち上げ、京都部すべてのクラブが京の地で共に栄えることを願い「京存共栄」とテーマを決め、原点に戻って本来の部会のあり方について幾度も打合せを重ねて参りました。部会実行委員会のもと54名のメンバーが「心ひとつに」し、15年前のようにメンバー個々の自信とクラブの結束力を高められる、そんな素晴らしい部会となるよう力をあわせて頑張っていきたいと思っております。そしてひとつとなった限りない力を活かして20周年に向け「更なる飛躍」が出来る一年にしたいと思います。

今期も例年通り多くの事業が行なわれ、メンバーの皆様にはご負担をおかけしますが、すべての事業に積極的な参加を働きかけていきたいと思っております。参加することによりクラブの活性化となり、ホーム例会だけでは味わえないメンバー同士の親睦を深めるチャンスがそこにあると思います。そして本来の奉仕活動への素晴らしさ、楽しさを感じていただければと思っております。

メンバー増強はもちろんですが、退会者を出さない楽しいクラブライフを目指し、実働60名の目標に向かって頑張っています。



京都みやびワイズメンズクラブ
会 長 堀 晴 美

◆ 会長主題 ◆

「小さな活動から大きく広げようワイズの心」

～ 思いやり、慈しみ、そして感謝 ～

みやびクラブはメンバー・メネットの結束がとても強く、大きな大会等への出席率もメンバー・メネットともに高いです。皆さん仲がよく例会も和気あいあいとしております。今期はみやびクラブ始まって以来の初の女性会長ということで、何かはれがましい気持ちでいっば

いです。入会した当時は女性メンバーがおりませんでした。そんな中すぐに溶け込むことができたのは、メネットの皆さんが暖かい大きな力でささえてくださったおかげだと感謝しています。メンがメネットを支え、メネットがメンを支え思いやり深い暖かいみやびクラブです。これがワイズの心でありこの心を大きく広げていきたいと思っております。街頭募金や使用済み切手の収集は小さな活動ですが、この小さな活動に参加することによって、みんなの小さな気持ちが集まって大きな心意気となります。このワイズの心を一つの小さなクラブから日本中に発信し、ひいては世界へ広がっていったらと思います。まずは、身近なこととしてメンバー増強です。次期は部長輩出の年でもあり、目標としては3人の増員を目指します。その為には、例会の内容を充実したものとし、楽しい例会を企画したいと考えております。また、みやびクラブから今期交流主査を輩出しており、IBCについては以前より話し合いを続けておりますが、引き続き積極的な議論を重ねていきたいと考えております。失敗をおそれずにコツコツとワイズ体験を積み重ね、何十年とワイズメンバーでいらっしゃる大先輩を目指してがんばりたいと思います。



京都トップスワイズメンズクラブ
会 長 倉 卓 也

◆ 会長主題 ◆

あしたのために

一歩一歩を大切に

京都トップスクラブの今期のキーワードはやはり『EMC』だと思います。今期、我がクラブからは西日本区 EMC 主任 新山兼司ワイズ、京都部 EMC 主査 河原正浩ワイズを輩出しており、クラブ内でも EMC イヤーに向けてメンバー増強ムードが高まってきております。

直前期の4月にはトップスクラブ初となる6名同時入会式を開催するなどメンバー数も増殖中で、7月には数名の新入会の予定もあり30名突破は確実です。このロケットスタートの勢いに乗り、今期突っ走っていきたいと思っております。

そんな中でも私が大切にしたいのは例会です。やはりクラブ活動の基本を例会とし、「楽しく、為になる例会」を開催し、人が人を呼び人の集まる活気あるクラブを目指します。

また8月に数十年ぶりの日本での国際大会も横浜であるので、トップスクラブからも精力的に参加したいと思います。

最後に、直前期・今期と新入会メンバーが多数増えたということもあり、今一度クラブの基本に立ち返り基本を見つめなおし、目的意識を持って各事業活動に参加していけるように新メンバーと一緒に学びたいと思います。



京都トゥービーワイズメンズクラブ
会 長 岡 田 正 義

◆ 会長主題 ◆

新たなる出発

気分はケ・セラ・セラ

トゥービークラブに入会して10年余り経ち、その間楽しく意義ある時間と空間を享受できたことを素直に喜んでおります。そして会長という役に推していただいた今期は、今までとは違う楽しみ方が出来るのかなと期待しております。私が楽しければメンバーも楽しい、そんな期であればなあと思います。我々は個人の意志で個人で会費を払って集うクラブである、という事を再認識してクラブを運営していきたいと思っております。今期我がクラブは新クラブをチャーターします。決して多くはないメンバー数のなかでのチャーターも、クラブライフを楽しもうというトゥービークラブのDNAが新メンバー獲得という困難を超えて、突き動かしたんだろうと思います。そしてそれはトゥービークラブにとっても新たにスタートをきるチャンスでもあります。そこで私は今期、今まで通年行われてきた事業をあらためてゼロから考え直そうと提案しています。ある意味惰性的になっている我々のマインドを洗い流して、メンバー全員で意義・認識を共有しなおしてトゥービークラブをリニューアルしたい。決して気負い過ぎる事なく、クラブを楽しむDNAを感じて。そしてもう一つ、それはメンバー増強。これこそ我がクラブの最大のテーマであります。親が子に負けるわけにはいかないという思いで、しかしながら気分はケ・セラ・セラで、一年頑張っていきたいと思っています。



京都東稜ワイズメンズクラブ
会 長 三 科 仁 昭

◆ 会長主題 ◆

個々の力を会の力へ「快」

地域に届く奉仕の輪

今期会長主題でもある「快」にあたり、心地良い環境を作り、クラブ員皆が胸のすくような年になるような運営を心掛け、自分自身が楽しくできるような環境作りが必要であると思います。まだまだ未熟者ではありますが事業者として一社会の構成員として、ワイズの員として誠意を尽くしていく考えで実行してまいります。また昨今の景況感のなか、個々の力を集めてメンバー全員の力へ繋げられるようなクラブでありたいので、そのた

めには、人の輪を大きくしていくことがとても大切な事であると思われます。

小さなクラブなので大きな事はできませんが、小さな事をコツコツ集めて大きな力にかえていきたいと考えており、その効を発揮させるためには、人員の増強と既存事業並びに新事業の育成、Yへのサポートが重要なキーワードとなります。特に、人員を増やしていくことはクラブの活性化・繁栄にはとても重要であると考えられるので、全メンバーで実行できるような声掛けと例会への参加を呼び掛けていきます。また、既存事業に、特に「てんとう虫マラソン」への1年を通した参画と運営に協力していきます。

ワイズ独自の環境でもあるファミリーで参加出来るような例会や親睦会、またはゲストが参加しやすい行事を増やしていくことも大切な柱であるとの思いもあるので、重点化していきたいと考えております。

当会結成7年目を迎えて、クラブで何ができるか、どうあるべきかを考えて実践していく年であると確信しております。この1年間 ①会員増強 ②事業の確立 ③Yへのサポートを重点活動計画として掲げて主題が達成できるような年にしていきます。



京都ウェルワイズメンズクラブ
会 長 上 野 晃 平

◆ 会長主題 ◆

Road of restoration

ウェル復活へ

ウェルクラブは急激なメンバーの減少で窮地に立っています。しかしクラブの団結力はどのクラブにも負けていないと思っています。

今期はその団結力で、クラブの再生復活に力を入れていきたいと思い、会長主題に掲げました。

私はまだまだ未熟で、メンバーのサポートなしではなにもできないのですが、クラブに尽力を尽くしたいと思っています。



▼ 第三部 宴会

午後五時～午後七時三〇分

▼ 第二部 講演

午後三時五〇分～午後四時五〇分

講師 上原 忠晴様
演題 「反社会勢力からワイズメンズクラブ会員を守る特効薬！」

▼ 第一部 式典

午後二時～午後三時四〇分



ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区

第十五回 京都部 部会のご案内

お問い合わせ（ホストクラブ）



京都グローバル
ワイズメンズクラブ

京都部部长 阪田 民明
部会実行委員長 小川 敏雄

◎ 例会振替えをお願いします

開催日 二〇一〇年九月十二日（日）

登録受付 午後一時

登録費 一万円

場所

リーガロイヤルホテル京都（堀川塩小路）

春秋の間



京都部部会テーマ

『京存共栄』